

日本体育大学桜華中学校3年 西ヶ谷 暖

新型コロナウイルス感染症がはやりだして、すでに半年が経ちました。今までの日常がなくなり、違った日常を過ごす毎日が続いています。学習時間が減ったり、学校生活を制限されたり、学級活動学校行事がなくなったり、友達との楽しい時間を制限され目標を見失ったりコロナに感染しないか心配で緊張状態が続いて、いったいいつまで続くのかみえない未来に不安がつのります。

そんな中、私達の生活で必要とされるものが変わってきたように感じます。自粛期間中には、家の中を整理して片づけをしました。

その時、物の多さに気づきました。それから、朝、昼、晩とで食事をし、親の買い出しの量が増えていました。毎日の必需品には、衛生用品が欠かせなく予備も整えている状態です。旅行や外食も減りました。この様に、お金を使うところが変わってきたと思います。

私の親は、今のところコロナの影響はなく働いていますが、ニュースを見ていると、飲食店や医療関係など本当に大変な状況で苦しい思いをされながら日々送っている姿、店や会社を辞めなければならない人などもいて、感染と経済で共にたたかわなければならない世の中になっているのだなと思わされます。

私達は将来、大人になり、社会人になります。そしたら一人の成人として税金も納めるようになります。

このコロナの感染拡大をおさえる為一時、緊急事態宣言が出され、その頃、国民一人一人に10万円の特別定額給付金が支給されました。マスクが支給されました。学校では、消毒や手洗い石けん、オンライン授業の準備金だったり、税金を使って対策・対応がまかなわれていることを知りました。

消費税以外に身近に税を知ることが出来ました。税金を納め、その税金がどんな役割を果たすのか、まだ知らない事も多いと思いますが、こういった税金の使い道、使い方を実行にうつしてくれるリーダーを、18歳になって選挙権が得られ、自分達で選んだ人がその税のルールを決めてくれるということにつながるといふ社会の仕組みも少し理解できました。このコロナ禍で、国が地方自治体が国民のためどう動いてくるか税金をどう使われていくのか、この状況で共にこれからも学んで考えていきたいと思えます。